

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 7月 3日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日	備考
1	4号機	換気空調補機冷却系主冷凍機(A)の油タンクヒーターの操作スイッチにおいて、動作不良(操作スイッチを操作したが、ヒーター動作せず)が認められたため、当該操作スイッチを交換。	-	7月1日	2019.7.4再審議にて正常動作であることが確認されたため削除。
2	4号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却系熱交換器出口弁において、弁体シート(逆座)部に判定基準を超える傷らしきものが確認されたが、弁グランド部からの漏えいはパッキンによりシールされることから、機能上問題ない。	GIII	7月1日	
3	1・2号廃棄物処理設備	プロセス放射線モニター系廃棄物処理補機冷却系冷却水放射線モニターにおいて、「廃棄物処理補機冷却系放射線モニター放射能高」警報の発生が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、当該系統水の放射性物質の濃度を測定した結果、異常なし(検出限界値未満)。	GIII	6月29日	
4	3・4号廃棄物処理設備	固化系ドラム缶操作設備において、攪拌機下ドラム位置接点に動作不良(通常、ドラム缶が通過する際に位置を検出しランプが点灯するところ、点灯しなかった)が認められたため、当該位置接点を交換。	GIII	6月28日	